

ウミガメ産卵を確認

泡瀬干潟（通信基地先砂州、通称フジイロ砂州）

下記「記者会見」で発表しました。

マスコミ各位

記者会見

泡瀬干潟を守る連絡会共同代表 小橋川共男 漆谷克秀

連絡先 前川盛治（泡瀬干潟を守る連絡会・事務局長）

携帯:090-5476-6628

日時：2011年6月16日(木) 午後2時～

場所：県政記者クラブ（沖縄県庁 5F）

記者会見内容

1. 2011年6月4日、泡瀬干潟の調査をしている方（匿名）から「通信基地先の砂州でウミガメの産卵を確認した。卵が一部露出しているので、泡瀬干潟を守る連絡会で調査して、保全して欲しい」との連絡があった。
2. **2011年6月6日**、小橋川共男・共同代表と前川盛治・事務局長が現場に行き、調査して、**泡瀬干潟（フジイロ砂州）**（埋立予定地と西防波堤のほぼ中間にある）で、**ウミガメの産卵**を確認し、露出している卵を埋めるなどの措置をした。写真参照（露出破損した卵、大きさを示す写真、確認場所）
3. 私たちは、泡瀬干潟・浅海域で1998年頃から、調査・保全活動を続け、埋立反対の活動をしてきたが、**ウミガメの産卵確認は初めて**である。この砂州周辺が極めて貴重な場所であることが、なお一層明らかになった。
4. この砂州は、**コアジサシの産卵・育雛の場所**でもあり、この砂州の直ぐ隣の北東の浅海域では、2007年6月8日、2008年6月21日に、泡瀬干潟を守る連絡会が**ヒメマツミドリイシの産卵（放卵）**も確認している。
5. また、この砂州周辺では、次に挙げるように多くの新種・貴重種が発見・確認されている。**ジャングサマテガイ**（05 日本発確認の貝、日本新産）、**ザンノナミダ**（07 新種の貝）、**ユンタクシジミ**（04 スジホシムシと共生する新種の貝）、**ニライカナイゴウナ**（03 新種の貝）、**フィリップンハナヒラガイ**（04 スジホシムシと共生する日本新産の貝）、**フジイロハマグリ**（類極めてまれな貴重種）、**トウカイトママキ**（1B 極めてまれな貴重種）、**ウミエラ**（白い砂が広がる浅海域に生息する）、**アワセカニダマシマメアゲマキ**（05 幻の新種の貝）、**アワセヒガタツバサゴカイ**（09 新種のゴカイ・環形動物）、**オサガニヤドリガイ**（04 カニに寄生する新種の貝）、**ヒメメナガオサガニ**（06 新種のカニ）、**オキナワキチヌ**（08 新種の魚）
6. この泡瀬干潟・浅海域の埋立が再開されようとしている。1区の埋立地内は、海草藻場56ha、サンゴ700㎡があり、新種（ヒメメナガオサガニ、ホウミクモ、カクサキ、リュウキウズタ）の生息地である。今回の埋立変更では、1区及び2区周辺のアセスは実施されず、**上記した生き物が全て「生埋め」になる**。また、この砂州の西側も埋められ、**マリーナ、小型船だまりが造られ、砂州への悪影響も予想される**。
7. この砂州も工事着工前（2002年）と埋立が進行し護岸が完成した現在を比較すると、**S字型になり、高さが低くなり、北側の先端が陸側に伸びる**など大きく変化した。そのまま放置しておく、この砂州も消滅し、ウミガメの産卵場所、コアジサシの産卵・育雛の場所が消滅するおそれがある。**フジイロ砂州の存続の対策を、沖縄市・県・国は講じるべきである**。
8. この埋立変更にあたって、環境省は「埋立回避、埋立面積の縮小」などを提言また、泡瀬干潟をラムサール条約登録の候補地に選定（2010年9月）し、保全を提言しているが、全く無視されている。**日本政府は、生物多様性条約締約国会議の責任を果たしていない**。
9. 私たちは、**世界の宝・泡瀬干潟・浅海域の埋立中止、子々孫々まで残すように、訴える**。

また、フジイロ砂州の存続のための保全策を講じるよう沖縄市・県・国に訴える。
以上

【参考 新種・貴重種、発見・確認年】

新=新種、新産=日本初確認、 B=絶滅危惧種 B類、 =絶滅危惧種 類
 2003年 ホウミヒル新 リュウキュウスタ新 ニライカノウ新
 2004年 オガニヤトリガ新 カクサケ新 ムツクジミ新 フィリピンヒラガ新産
 2005年 ジャングサマガ新産 アセカダ マシマケ マキ新 トウカイマキ B フジイロハグリ
 2006年 ヒメメガ オガニ新
 2007年 ザンナミダ新
 2008年 オキワキ新
 2009年 アセカダツバサガ新

ウミガメ産卵の写真（撮影日:2011年6月6日）



露出し、破損している卵
写真：前川盛治



左写真の拡大
写真：前川盛治



卵の大きさを示す。携帯電話の幅5cmとほぼ同じ大きさで、卵の大きさは約5cmである。周辺には、ウミガメの足跡はなく、ウミガメの種は確認できなかった。

写真:小橋川共男



産卵場所、フジイロ砂州
写真:小橋川共男